

高松市脱炭素先行地域共創コンソーシアム 設立趣意書（案）

近年の地球温暖化に伴う気候変動は、自然災害の激甚化を始め、自然環境や生態系など、様々な分野に大きな影響をもたらしているとともに、その影響は、年々深刻さを増しています。この地球規模の問題に対して、地域においても脱炭素化に向けた取組を一層推進することが求められており、こうした脱炭素化の取組が、環境意識の高い企業や人材を引きつける、都市の価値を大きく向上させるものとなっております。

本市においては、2020年12月に、2050年までに温室効果ガスの排出を実質ゼロにする「ゼロカーボンシティ」を目指していくことを宣言して、市民・事業者・行政が一体となり、脱炭素の取組を通じて、環境と経済、そして、暮らしの豊かさが調和しながら成長をし続ける持続可能な社会への実現に向けて取り組んでいるところです。

こうした中、本市は、地域脱炭素の切り札となる「脱炭素先行地域」に選定され、再生可能エネルギーの導入を始め、エネルギーの地産地消や、藻場や森林でのCO₂吸収源対策などの取組を進め、脱炭素という付加価値を付けた「おもてなし」を創出していくこととしております。

そこで、関係者間の連携を深め、意見交換等を行う場として「高松市脱炭素先行地域共創コンソーシアム」を設立し、企業、団体、大学、金融機関、行政等の幅広い関係者が、それぞれの知見を持ち寄り、多様な形で連携して、市民参加も促しながら、脱炭素先行地域づくりの取組を共創していき、全国、そして世界に誇れる脱炭素都市として「選ばれ続けるまち・高松」を切り拓いてまいります。

令和8年7月30日

高松市脱炭素先行地域共創コンソーシアム